



OPINION

私はこう考える

山口良一 俳優(劇団「東京ヴォードヴィルショー」所属)

1955年生まれ。1979年、劇団「東京ヴォードヴィルショー」に入団。テレビ番組「欽ドン!」で人気を集め、現在もテレビや舞台を中心に活躍中。

バイクも舞台と同じ。練習を重ねていくことで、余裕のある安全な運転技術が身につく

山口さんが交通安全教育センターレイ
ンポー埼玉のホンダモーターサイク
リスト・スクール(HMS)に通い
始めて10年以上になる。2週間ほど
前にも中級コースを受講してきたば
かり。HMSとの出会いは、テレビ
の番組でバイクのスクールに参加し
たことがきっかけだったという。それ
まで20年ほどバイクに乗っていた山
口さんがこの時、「自分が思ってい
るほど、運転がうまくないことがわ
かった」そう。それで少しはうま
くなるかと、ホンダのプロインスト
ラクターが教えてくれるHMSがあ
るといって行ってみたわけ。怖が
り、普段あまりスピードも出さな
いですが、HMSではスポーツ走
行を楽しみながら、のびのびと安全
意識や運転技術を向上できるところ
がいいですね。仲間もできるし、イ
ンストラクターからのアドバイスも
一人ひとりに合わせた内容で、とて
も的確で丁寧な感じがします。

HMSに通い続けた効用で、山口
さんがあげたのがブレーキング。「ど
つさの時にも慌てずに、しっかりと
ブレーキをかけられるようになりまし
た。メリハリのきいた走りができな
いのが私の欠点だったので、その
点も改善されてきました。また、
運転操作自体に気をとられなくなっ
て、目線も同じ前を見ていても視野
が広がったように感じます。舞台
も稽古不足だと不安になりますが、
バイクも同じです。HMSでの練習
に裏打ちされた安心感で余裕を持っ
た運転ができて
す。できれば1カ
月に1回はHMS
を受講したいです
ね。」

「07トラフィック・セーフティ・フォーラムin埼玉」でパネルディスカッションのコーディネーターを務めた山口さん

※Hondaモーターサイクリスト・スクール=二輪車の特性を理解し、自らの運転能力を把握することにより、安全運転に対する意識および運転技術の向上を目的に、全国8カ所のHondaの交通安全センター(もてぎ、和光、埼玉、浜松、浜名湖、鈴鹿、福岡、熊本)で開催。指導は経験豊かな高度な指導技術を持つインストラクターが担当し、実技を主体とした参加体験型のカリキュラムを特色としている。詳細は以下のホームページを参照。(スクールの内容が動画で見られるほか、会員登録を行えばインターネットからスクールの予約も可能) <http://www.honda.co.jp/safetyinfo/HMS/mschool.html>

「ライダーの意識次第で危険にな
るといふことを忘れないでほしい」
と、山口さんは強調する。かつての
ようにバイクの事故が目立ってきた
なっているなか
で、気軽に乗っ
てしまうライダ
ーが多くなっ
ている。ウエアの
軽視もそうした
背景があるよう

「年をとってもバイクに乗りたい
バイクに乗り続けたい」
と、山口さんは強調する。かつての
ようにバイクの事故が目立ってきた
なっているなか
で、気軽に乗っ
てしまうライダ
ーが多くなっ
ている。ウエアの
軽視もそうした
背景があるよう

「ライダーの意識次第で危険にな
るといふことを忘れないでほしい」
と、山口さんは強調する。かつての
ようにバイクの事故が目立ってきた
なっているなか
で、気軽に乗っ
てしまうライダ
ーが多くなっ
ている。ウエアの
軽視もそうした
背景があるよう

「年をとってもバイクに乗りたい
バイクに乗り続けたい」
と、山口さんは強調する。かつての
ようにバイクの事故が目立ってきた
なっているなか
で、気軽に乗っ
てしまうライダ
ーが多くなっ
ている。ウエアの
軽視もそうした
背景があるよう

「ライダーの意識次第で危険にな
るといふことを忘れないでほしい」
と、山口さんは強調する。かつての
ようにバイクの事故が目立ってきた
なっているなか
で、気軽に乗っ
てしまうライダ
ーが多くなっ
ている。ウエアの
軽視もそうした
背景があるよう

「ライダーの意識次第で危険にな
るといふことを忘れないでほしい」
と、山口さんは強調する。かつての
ようにバイクの事故が目立ってきた
なっているなか
で、気軽に乗っ
てしまうライダ
ーが多くなっ
ている。ウエアの
軽視もそうした
背景があるよう

「ライダーの意識次第で危険にな
るといふことを忘れないでほしい」
と、山口さんは強調する。かつての
ようにバイクの事故が目立ってきた
なっているなか
で、気軽に乗っ
てしまうライダ
ーが多くなっ
ている。ウエアの
軽視もそうした
背景があるよう



山口さんが交通安全教育センターレインポー埼玉のホンダモーターサイクリスト・スクール(HMS)に通い始めて10年以上になる。

HOW TO LEAD

★効果的な安全手法を学ぶ

[アクティブセーフティトレーニングパークもてぎ/Honda健康ドライブスクール]

この日スクールが開催されたアクティ
ブセーフティトレーニングパークもてぎ
をはじめ、ホンダの7カ所の交通安全セ
ンターでは、65歳から75歳くらいの高齢
運転者を対象とした「Honda健康ドライ
ブスクール」を今年5月から新たに開催
している。

「自分が気づいて
直すことが大切」
午前9時30分、オリエンテーションが始
まった。この日は、綱川透インストラクタ
ーを中心に4名が指導を担当。
午前10時、受講者は2台のクルマに分か
れ、実技の運転診断走行に入る。助手席に
はインストラクターが同乗しサポート。運
転の様子は、小型の記録装置によって映像
が録画される。
実技終了後、受講者は2名ずつ2つの教
室に分かれた。教室前方のスクリーンには、
先程の運転映像が映し出される。「このス
ピードの表示に注目してください。停止線
の手前で0km/hになれば、しっかりと止
まったことがわかります」と綱川インスト
ラクター。ところが、速度が完全に0km/h
にならない人もいる。思わず「ちゃんと
止まってなかった」とつぶやく受講者の姿
も見られた。「止ま
ったつもり」になっ
ていた。

「危険を予測する目的を
日頃から養うことが必要」
このプログラムの基本的な考え方は、「気
づき」を通して運転行動を改善していくこ
とにある。綱川インストラクターは、「ご自
身で気づいていただくことが大切」と言う。
問題点をただ指摘するのではなく、自分の
運転映像を振り返る中で、受講者自身が
危険を察するようになる。何回も気が
なる部分を見せて、ポイントを引き出そう
と試みる。また、正しい行動をしている場
合には受講者をほめることも忘れない。
Honda健康ドライブスクールでは、高齢
者が日常的に安全運転を意識できるよう
に、危険予測トレーニングで使用したシー
トや歩数計などを配布して、日頃から健康
や安全を意識できるようにサポートしている。
「日頃の生活の中でも危険を予測する目を
養ってほしい」と綱川インストラクターは
話す。

「自分が気づいて
直すことが大切」
午前9時30分、オリエンテーションが始
まった。この日は、綱川透インストラクタ
ーを中心に4名が指導を担当。
午前10時、受講者は2台のクルマに分か
れ、実技の運転診断走行に入る。助手席に
はインストラクターが同乗しサポート。運
転の様子は、小型の記録装置によって映像
が録画される。
実技終了後、受講者は2名ずつ2つの教
室に分かれた。教室前方のスクリーンには、
先程の運転映像が映し出される。「このス
ピードの表示に注目してください。停止線
の手前で0km/hになれば、しっかりと止
まったことがわかります」と綱川インスト
ラクター。ところが、速度が完全に0km/h
にならない人もいる。思わず「ちゃんと
止まってなかった」とつぶやく受講者の姿
も見られた。「止ま
ったつもり」になっ
ていた。

「自分が気づいて
直すことが大切」
午前9時30分、オリエンテーションが始
まった。この日は、綱川透インストラクタ
ーを中心に4名が指導を担当。
午前10時、受講者は2台のクルマに分か
れ、実技の運転診断走行に入る。助手席に
はインストラクターが同乗しサポート。運
転の様子は、小型の記録装置によって映像
が録画される。
実技終了後、受講者は2名ずつ2つの教
室に分かれた。教室前方のスクリーンには、
先程の運転映像が映し出される。「このス
ピードの表示に注目してください。停止線
の手前で0km/hになれば、しっかりと止
まったことがわかります」と綱川インスト
ラクター。ところが、速度が完全に0km/h
にならない人もいる。思わず「ちゃんと
止まってなかった」とつぶやく受講者の姿
も見られた。「止ま
ったつもり」になっ
ていた。

「自分が気づいて
直すことが大切」
午前9時30分、オリエンテーションが始
まった。この日は、綱川透インストラクタ
ーを中心に4名が指導を担当。
午前10時、受講者は2台のクルマに分か
れ、実技の運転診断走行に入る。助手席に
はインストラクターが同乗しサポート。運
転の様子は、小型の記録装置によって映像
が録画される。
実技終了後、受講者は2名ずつ2つの教
室に分かれた。教室前方のスクリーンには、
先程の運転映像が映し出される。「このス
ピードの表示に注目してください。停止線
の手前で0km/hになれば、しっかりと止
まったことがわかります」と綱川インスト
ラクター。ところが、速度が完全に0km/h
にならない人もいる。思わず「ちゃんと
止まってなかった」とつぶやく受講者の姿
も見られた。「止ま
ったつもり」になっ
ていた。

高齢ドライバーに自分の運転の問題点に気づいてももらうための教育



受講者に手渡されるフォローアップ教材「危険予測トレーニング30」



「危険予測トレーニング30」を使い、危険と思われることを話し合う

「自分が気づいて
直すことが大切」
午前9時30分、オリエンテーションが始
まった。この日は、綱川透インストラクタ
ーを中心に4名が指導を担当。
午前10時、受講者は2台のクルマに分か
れ、実技の運転診断走行に入る。助手席に
はインストラクターが同乗しサポート。運
転の様子は、小型の記録装置によって映像
が録画される。
実技終了後、受講者は2名ずつ2つの教
室に分かれた。教室前方のスクリーンには、
先程の運転映像が映し出される。「このス
ピードの表示に注目してください。停止線
の手前で0km/hになれば、しっかりと止
まったことがわかります」と綱川インスト
ラクター。ところが、速度が完全に0km/h
にならない人もいる。思わず「ちゃんと
止まってなかった」とつぶやく受講者の姿
も見られた。「止ま
ったつもり」になっ
ていた。

「自分が気づいて
直すことが大切」
午前9時30分、オリエンテーションが始
まった。この日は、綱川透インストラクタ
ーを中心に4名が指導を担当。
午前10時、受講者は2台のクルマに分か
れ、実技の運転診断走行に入る。助手席に
はインストラクターが同乗しサポート。運
転の様子は、小型の記録装置によって映像
が録画される。
実技終了後、受講者は2名ずつ2つの教
室に分かれた。教室前方のスクリーンには、
先程の運転映像が映し出される。「このス
ピードの表示に注目してください。停止線
の手前で0km/hになれば、しっかりと止
まったことがわかります」と綱川インスト
ラクター。ところが、速度が完全に0km/h
にならない人もいる。思わず「ちゃんと
止まってなかった」とつぶやく受講者の姿
も見られた。「止ま
ったつもり」になっ
ていた。